

ありもちありも

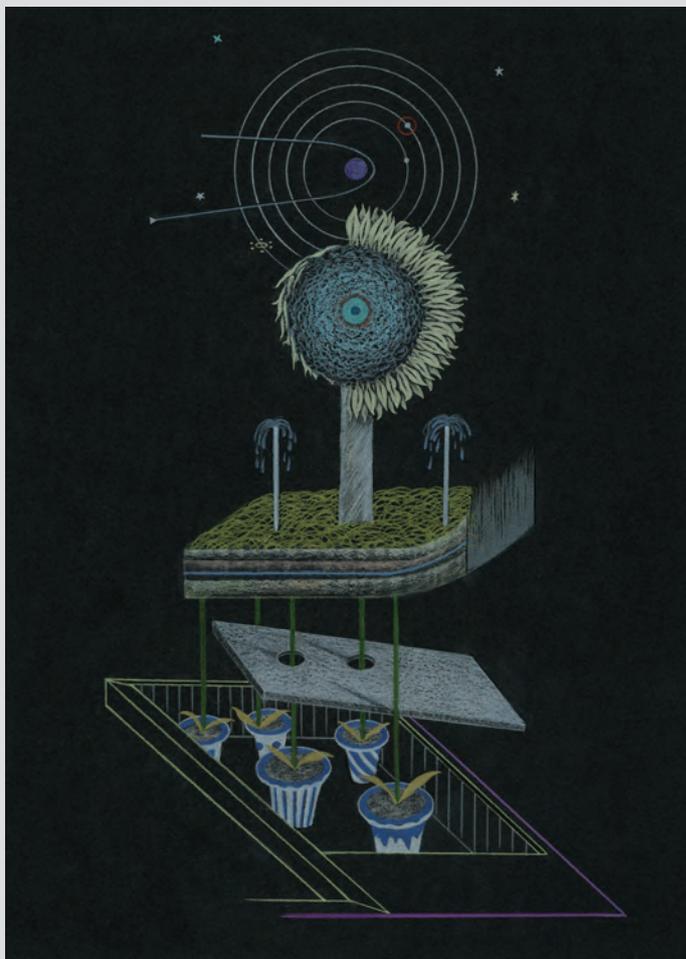
# 有持有百の

## ドローイングとシュルレアリスム

ミ 二  
展 示



『累々』 2020年/「立つ人」シリーズより



『アイランドゥスノハナ』 2021年/「リゾームスケッチ」シリーズより

2023

会場/京都市下京区中堂寺命婦町1-10 京都産業大学壬生校地むすびわざ館2階

### 9.20(水) - 10.7(土) 京都産業大学ギャラリー

開館時間

月・火・木～土[10:00～16:30]

水[13:00～16:30]

(入館受付は全日程16:00まで)

休館日

日曜日、祝日

※9月23日(土・祝)は休館

入館料

無料

主催

京都産業大学ギャラリー

共催

京都産業大学 長谷川晶子ゼミ

トークショー

「忘れたイメージを繋ぐ遊び」

【講師】

有持有百 (美術作家・愛知県立芸術大学准教授)

長谷川 晶子 (京都産業大学外国語学部准教授)

【日時】

9月30日(土) 15:00～16:00 (終了予定)

※詳しくは裏面をご覧ください。

ありもちありも  
有持有百のドローイングと  
シュルレアリスム

「有持有百のドローイングとシュルレアリスム」の中心的な展示物は、有持有百のドローイング作品20点程度と、彼のアニメーション作品1点です。京都産業大学外国語学部長谷川ゼミの学生が、有持の有機的なドローイングの魅力をシュルレアリスムの観点からご紹介します。

有持有百とは

本名は有持旭。美術作家。愛知県立芸術大学の准教授で、アニメーション作家(ALIMO)として活躍している。2019年以降は、有持有百の名前でドローイングを制作し、発表している。彼のドローイングは黒い紙に色鉛筆によって描かれる。アルチュール・ランボオの詩や『千のプラトー』やゲーテの形態学などの詩や哲学から触発されて、具象であり抽象でもあるイメージや物語を作り出す。東京のLIBRAIRIE6で個展(2020年、2022年)が開催され、作品集『立つ人』と『リズムスケッチ』が刊行された。本展で紹介する作品『累々』は松井玲奈著の小説(2021年)の表紙を飾っている。

トークショー

「忘れたイメージを繋ぐ遊び」

講師／ 有持 有百 (美術作家・愛知県立芸術大学准教授)  
長谷川 晶子 (京都産業大学外国語学部准教授)

日時／ 9月30日(土) 15:00~16:00 (終了予定)

会場／ 京都産業大学ギャラリー

定員／ 25名(事前申込制)

入場／ 無料

申込先／  
<https://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/>

申込受付開始／ 9月20日(水) 11:00~

※京都産業大学ギャラリー公式ホームページのインターネット申込みフォームよりお申込みください。申込期間にかかわらず、定員に達した時点で受付を終了します。応募の際にご提供いただきました個人情報は、トークショー以外の目的では使用いたしません。



丹波口(JR)…徒歩約7分 大宮(阪急)…徒歩約11分 四条大宮(京福)…徒歩約11分 ※駐車場・駐輪場はございませんので、ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。  
 問合せ先 京都産業大学むすびわざ館事務室 (平日 9:00~16:30)  
 TEL 075-277-0254 FAX 075-277-1699 HP <https://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/gallery/index.html>

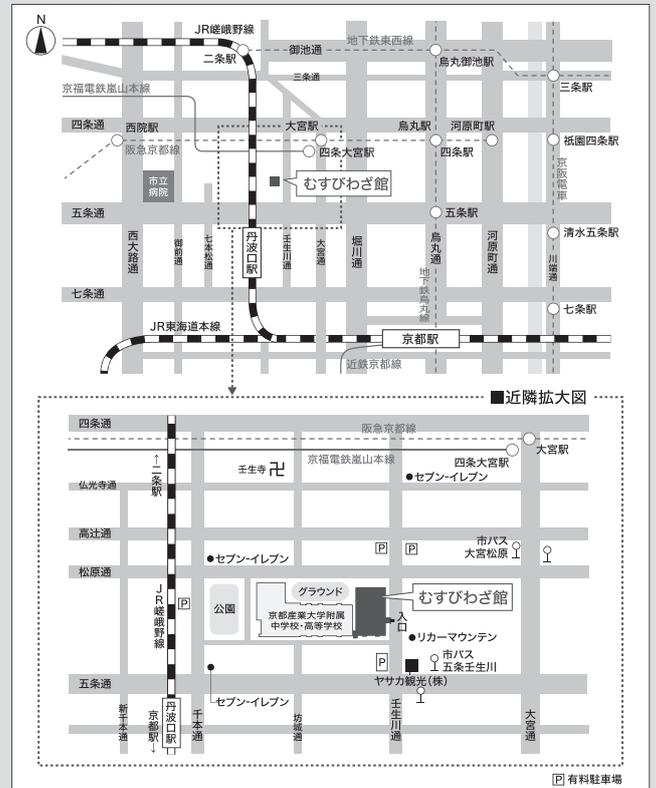


① 渦巻きダンスをするフェデリコ  
 ② リミニの川でバラードをする道化師  
 ③ 我々は移動しなければならぬ

「甘美な死骸」とは

紙を折り畳んで他のひとが何を描いたのかをわからないようにしながら、頭、胸、腰、足を順番に描いていく手法である。常識の枠を越えた、不可思議なイメージを作り出せる。シュルレアリストたちが1920年代から集団で行っていた遊びである。普通は複数で行うところを、有持はこれをひとりで行う。

■むすびわざ館(京都産業大学ギャラリー)へのアクセス



同時開催 京都産業大学ギャラリー所蔵品展・写真展「930年目の賀茂競馬」

※むすびわざ館の工事のため、ギャラリーは10月8日以降、令和5年度内は休館いたします。